

仕様書 別記

1. 購入品目・品質規格及び数量

超高精度質量分析装置(LC-QTOF/MS) 一式

2. 仕様

[質量分析装置]

- 1) イオン源はエレクトロスプレーイオン源のスプレーニードルに電圧がかかっておらず、よりソフトな状態でイオン化できる機構を有していること。
- 2) 直交型イオン源を有しており、イオン分子導入口にあるキャピラリー素材がガラスで出来ていること。
- 3) APCI イオン源が接続可能であること。
- 4) CSI イオン化システムによる温度制御イオン化も可能であること。
- 5) 質量分析部は四重極とリフレクトロン飛行時間型の統合タイプであり、分解能 30,000 以上(半値幅)で、測定精度は内部標準で 1 ppm 以内、外部標準で 2 ppm 以内の性能を有すること。
- 6) 外部標準で安定したミリマス測定を行う為、内部の温度変化から生じる質量誤差を自動で補正する温度変化補正機能を有し、その安定性能は、1.5 mD 以内での EIC(Extracted Ion Chromatogram)測定が可能であること。
- 7) 温度制御機能を有すること。

[液体クロマトグラフィー装置]

- 8) 液体クロマトグラフィー(HPLC)と直結しており、一台のデータシステムでHPLC及び質量分析部の制御が可能であること。
- 9) 液体クロマトグラフィー部はオートサンプラーを有すること。
- 10) 検出器にはフォトダイオードアレイ検出器を有すること。

[制御PC及びソフトウェア等]

- 11) 質量分析制御装置の OS は Windows10 であること。
- 12) 高い再現性で同位体パターンスペクトルを測定し、さらに理論スペクトルと比較することで元素組成分析を可能にするペプチド・タンパク解析ソフトウェアを有すること。
- 13) ペプチド質量データベースを利用可能であること。